

教育と文化



男女協働参画社会を目指して

学校教育の役割

● 問合先 企画政策課

男女協働推進係(☎2115)

令和3年3月に『第5次佐賀県男女共同参画基本計画』が策定され、重点目標の中では、『次世代を担う子どもたちが、男女共同参画の理解や将来を見通した自己形成ができるよう、男女双方への取組を進める』とされています。

男女協働参画を推進していく上で、学校教育が果たさなければならぬ役割は、大きいと思われま

す。大人だけでなく、児童生徒も、育ってきた環境によって、性別による固定的な役割分担意識や無意識の思い込み(アンコンシャスバイアス)を持っています。しかし、学校で男女協働の考えを学習することによって意識が変わり、子どもを通じて家庭や地域の意識改革につながっていくことが期待できます。

たくさんのおもちゃの写真を、男の子用と女の子用に分けてみると、ほとんどの子どもが、ほぼ同じように分

けていきます。洋服についても同じです。また、家庭での分担について、子どもたちは、自分の家庭での父や母の役割が、当たり前だと思つています。子どもたちの意識の中にある、性別による固定的な考え方を変えていくことで、性別に関係なく自分らしいものを選んで良いということに気づいていくと思います。

以前は、学校行事で役割を決めるときに、力仕事は男の子、花を飾ったり、下級生のお世話をしたりするのは女の子に頼むことが多かったと思いますが、今は、性に関係なく、自分のやりたい仕事を選べるように配慮されています。

学校生活の中で、性別に関係なく、男女が共に協力し合つて、自分らしく生きることを学ぶことが、男女協働参画社会の実現につながることでしよう。

(伊万里市男女協働参画懇話会『いまりプラザ』委員)

郷土の文化財

伊万里の遺構シリーズ「埋葬遺構を中心として」⑫

● 問合先 生涯学習課文化財係(☎1262)

銭亀古墳の石室

(東山代町日尾 昭和46年調査)

かつて銭亀古墳では、「この畑を耕すと、下に大きな石があり、その石に触れると発熱などの障りがある」との言い伝えがありました。その後、調査によつて、それが古墳であることが分かりました。現在、古墳は土地造成により、なくなつてしまいました。

石室は、夏崎古墳や小島古墳と同じ『横穴式石室』ですが、後世の開発による破損がひどく、石室の基礎部分の一部が残つていただけでした。

遺体を納める玄室の幅は約1.5m、長さは約1.8mあり、羨道と言われる玄室につながる通路は、幅0.8m、長さ約2.4mでした。

そして、大きな特徴としては、墳丘の周辺部に礫群がありました。礫群の幅は60cmで、半径約5mの円を描くように取り巻いていることから、調査のときには、すでに墳丘は削られてしまいましたが、築造当時は、石がふかれていた可能性があります。

古墳の大きさは、地形などから推察すると、直径約15mの円墳で、6世紀末頃に築造されたと考えられます。



↑ 銭亀古墳の平面図

令和3年度5月実施 全国学力・学習状況調査の結果

●問合先 学校教育課学校教育係 (☎233185)

市の調査結果の概要を紹介します。なお、調査結果については各学校で分析し、課題を明らかにして具体的な対策を考え、授業の改善や家庭学習をはじめとする基本的な生活習慣の定着につなげます。

調査内容

■学年・教科など

- ▷小学校 第6学年：国語、算数、質問紙（生活・意識）
- ▷中学校 第3学年：国語、数学、質問紙（生活・意識）

調査結果

1 学力調査（正答率）

小学校（第6学年）

教科	全国	県	市
国語	64.7%	65.0%	64.0%
算数	70.2%	69.0%	69.0%

●良好だった項目

国語：書くこと、言語の特徴や使い方に関する事項
算数：数と計算、図形、測定

●課題がある項目

国語：話すこと聞くこと、読むこと
算数：データの活用

中学校（第3学年）

教科	全国	県	市
国語	64.6%	62.0%	57.0%
数学	57.2%	56.0%	49.0%

●良好だった項目

国語：話すこと聞くこと
数学：数と式

●課題がある項目

国語：書くこと、読むこと、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
数学：図形、関数、資料の活用

2 質問紙（生活・意識）調査

小学校（第6学年）

■全国・県との比較で良好だった項目

▷人の役に立つ人間になりたいと思っている

	あてはまる【★】	あまりあてはまらない	あてはまらない
全国	95.5%	3.3%	1.2%
県	96.3%	2.6%	1.1%
市	96.2%	3.1%	0.8%

■全国・県との比較で課題がある項目

▷将来の夢や目標を持つことができている

	あてはまる【★】	あまりあてはまらない	あてはまらない
全国	80.3%	10.8%	8.9%
県	82.3%	9.8%	7.9%
市	81.7%	11.6%	6.7%

【★】・・・『あてはまる』は、『あてはまる』と『どちらかといえばあてはまる』をあわせた数値

▷家庭学習（塾などを含む）での勉強時間

	平日		
	2時間以上	1～2時間	1時間未満
全国	26.9%	35.6%	37.5%
県	23.3%	35.8%	40.9%
市	17.3%	37.4%	45.3%

※無回答などにより、割合の計が100%にならないものがあります。

中学校（第3学年）

■全国・県との比較で良好だった項目

▷学校に行くのは楽しいと思う

	あてはまる【★】	あまりあてはまらない	あてはまらない
全国	81.1%	12.8%	6.0%
県	82.6%	12.4%	4.9%
市	86.9%	8.9%	4.1%

■全国・県との比較で課題がある項目

▷将来の夢や目標を持つことができている

	あてはまる【★】	あまりあてはまらない	あてはまらない
全国	68.6%	19.5%	11.8%
県	70.0%	19.8%	10.2%
市	67.4%	21.2%	11.2%

▷家庭学習（塾などを含む）での勉強時間

	平日		
	2時間以上	1～2時間	1時間未満
全国	41.8%	34.1%	24.0%
県	29.1%	39.2%	31.4%
市	21.7%	37.7%	40.4%

学校・家庭・地域の役割

伊万里で育つ子どもたちが、人の役に立つ人間になりたいという思いを大事にし、楽しいと感じている学校で、友達とともに自分の将来の夢や目標を見だし、その実現に向けて力強く歩むために・・・

■学 校

各学校でこの調査結果を分析し、課題解決に向けた具体的な取り組みを全職員で共通理解し、授業を改善する必要があります。授業の改善について日常の職員室で議論したり、研修を深めたりする必要があります。

■家 庭

わが子の将来の夢や、その夢の実現について、親子でコミュニケーションをとることが大切です。このことは、親子の関係を深めるとともに、自ら学ぶ意欲を育み、家庭学習の充実につながります。

■学校と地域との連携

コミュニティ・スクールなどで、さまざまな人との交流を深めることを通して、自分が人の役に立っている、貢献しているという自己有用感を高める必要があります。このことは、将来の夢の実現に向けて、力強く歩むための大きなエネルギーになります。